令和2年度 授業改善推進プラン 低学年

◆和元年度長業改善ブランの検証と調査結果の分析 (○はおおむねできていること、△は課題があること) ②書かれている事柄の順序や場面の様子に気付いて読んだり、進んで文を書いたりすることができる。 ○読書をすることに関心が高く、楽しみながら進し、心で本を読むことができる。 ○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 ○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 △助詞や句読点、かぎを文章の中で正しく使うことに課題がある。 △ひらがなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 △原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むことができる。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むことができる。 ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の意義会を意図的に増やしていく。 ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の意義会を意図的に増やしていく。 ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の意義会を意図的に関やしていく。
いて読んだり、進んで文を書いたりすることができる。
できる。 ○読書をすることに関心が高く、楽しみながら進 本ので本を読むことができる。 ○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 本の助詞や句読点、かぎを文章の中で正しく使うことに課題がある。 本のらがなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 本の原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 本の原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の記述を表示している。 本の方に登録する活動を行う。 本の当に意欲的に読むことができるように、読書の時間と国家の単元学習を関連させる等の工夫をする。 本表表の単元学習を関連させる等の工夫をする。 本表表の一人文章の中での使われ方に着目させ、文章を書く際に助詞やで読点、かぎを意識できるようにする。 本表表表表の一人の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表
 ○読書をすることに関心が高く、楽しみながら進んで本を読むことができる。 ○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 ○声語、がきを文章の中で正しく使うことに課題がある。 ○本の事がなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 ○本の事がなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 ○本の事がなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 ○本の事がなやカタカナの事順や形、漢字の習熟がならに必要である。 ○本の事がなどの方式を使用したり単元では、は、かずを意識できるようにする。 ○本の事がなどの方式を使用したり単元では、は、かずを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、タブラットを使用して、また、また、タブラットを使用して、また、また、タブラットを使用して、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、
国 んで本を読むことができる。 ○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 △助詞や句読点、かぎを文章の中で正しく使うことに課題がある。 △ひらがなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 △原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むこ ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の記述に表示している。 ○継元学習を関連させる等の工夫をする。 ○表現力を向上させるために、音読練習や話す機会を作り、言語活動の充実を図る。 △文章の中での使われ方に着目させ、文章を書く際に助詞やで読点、かぎを意識できるようにする。 △、大章の中での使われ方に着目させ、文章を書く際に助詞やで読点、かぎを意識できるようにする。 △、大章の中での使われ方に着目させ、文章を書く際に助詞やできるようにする。 ○本に学習した漢字のテストを取り入れたりする。また、タブットを使用して筆順や形をチェックできるようにする。 ○本に関係の正しい書き方が定着していない。 ○本に関係を意図的に増やしていく。 ○本に表示している。 ○本に表示している。 ○本に表示しているに、音読練習や話す機会を作り、言語活動の充実を図る。 ○本に表示して表示している。 ○本に表示して表示して表示している。 ○本に表示して表示して表示して表示して表示して表示して表示して表示して表示して表示して
 ○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 語 △助詞や句読点、かぎを文章の中で正しく使うことに課題がある。 △ひらがなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 △原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むこ ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の
かりやすく伝えることができる。
 語 △助詞や句読点、かぎを文章の中で正しく使うことに課題がある。 △ひらがなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 △原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むこ △継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の意味 ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の意味
とに課題がある。
□ △ひらがなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟が ○ 広習漢字を他教科の学習でも積極的に使用したり単元ごと で は で は で で は で で また、タブロットを使用して 筆順や形をチェックできるようにする。 ○ □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
さらに必要である。 に学習した漢字のテストを取り入れたりする。また、タブットを使用して筆順や形をチェックできるようにする。 △原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 △副教材や原稿用紙に書く活動を取り入れ、書き方の習熟を有う機会を意図的に増やしていく。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むこ ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定のこ
ットを使用して筆順や形をチェックできるようにする。 △原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 △副教材や原稿用紙に書く活動を取り入れ、書き方の習熟を行 う機会を意図的に増やしていく。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むこ ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の
△原稿用紙への正しい書き方が定着していない。 △副教材や原稿用紙に書く活動を取り入れ、書き方の習熟を行う機会を意図的に増やしていく。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むこ ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の
う機会を意図的に増やしていく。 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むこ ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定のご
○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むこ ○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の
とができる。
○計算問題への学習意欲とともに、計算の正確 ○ステップ学習の時間に計算練習を計画的に設けたことによ
さが増してきた。 り成果が出てきたので、今後も継続し習熟を図る。
算 ○文章問題を正しく読み取って、立式することが ○問題文の中からキーワードを見つけ、具体物・図・式・フ
できる。 章を連動させながら思考させ立式させる。
△量や長さなど、感覚を伴った単元の定着に課題 △体験的な活動を通して量感覚、数感覚が身に付くように、
数がある。 値だけでなく実際の長さや量を感じる活動を意図的に設ける。
□ △時計が示す時刻や時間が分からない。 □ △生活の中で、時刻と時間を使う機会を増やし、復習問題を
○自然に興味をもち、動物や植物などの世話を行 ○学年園や一人一鉢ずつ植物を育て、成長していく植物の変
生うことができる。 を日常的に観察させる。
□ △植物や動物の変化や成長の様子について自分な □ △観察したものを記録する際に、多面的にとらえることがで
活りに表現することに課題が残る。 るように「かんさつめいじん(大きさ・手ざわり)」などの
視点を提示する。
○リズムや拍の違いを工夫し、手拍子をしたり音 ○様々なリズムや楽器にふれる機会をより多くもち、音やリス
音 をつなげて音楽をつくったりする学習を楽しむ ムに親しみをもたせる。
ことができる。
楽 △鍵盤ハーモニカの指使いが課題である。 △鍵盤の拡大掲示を使用し、指使いを具体的に教える。全体技
導の後に個別に確認する。
□ ○つくり出す喜びを味わいながら、造形活動を楽 ○児童が興味・関心をもつことができる題材を選定する。
図 しんでいる。 △授業の始めに完成したものを見せて、様々な表現の仕方やり
_ △表現したいことに合わせて材料・用具を使うこ
上 とに課題がある。 広げたりできるようにする。
体 ○走・跳の運動遊びや機械・器具を使った運動遊 ○運動が苦手な児童も楽しんで取り組むことができるよう、
びに興味をもって取り組むことができる。 運動する場や用具などを工夫する。
育 △持久力に課題が見られる。 △授業の始めに走り、基礎体力をつける時間を設ける。